

防災訓練

その時、
市内では



市の災害対策本部では、名古屋大学の阪本准教授を招き、厳しい質問が飛び交うなか、本番さながらの緊張感で訓練しました。



日赤奉仕団と森区による炊き出し訓練



自衛隊の炊き出し訓練



自衛隊の炊いたご飯をみんなで
おにぎりにしました（森区）

9月7日「下呂市総合防災訓練」が市内全域で行われました。飛騨南部を震源とする震度6強の地震が発生し、市内で甚大な被害が発生したとの想定でした。
各地域での訓練は、市民1万3千人、消防団1千人、連携団体50名、市職員450人の合計1万4千5百人が参加されました。
ここでは、自助・共助・公助による取り組みをご紹介します。



協定締結先の知立市から支援物資
が届きました。



各区においては災害対策本部が
設置されました。（金山町井尻区）



下呂市医師会等において応急救護所の
設置訓練（下呂小体育館）



地域の避難所に避難（馬瀬西村）



管設備組合による給水訓練



要援護者に対する食事介助訓練
（萩原町羽根区）

9.7 下呂市総合

総合防災訓練を実施しま

今年度の下呂市総合防災訓練を森区内において実施していただき誠にありがとうございました。森区では、住民の約7割にあたる約2000名の安否確認を各班長にお願いいたしました。しかし、約900名程の安否確認ができなかったことは今後の大きな課題です。

区未加入世帯（民間のアパート、会社の寮等の居住者）を把握することは困難な側面が多々ありますが、今後も隣近所、経営者のご理解・ご協力をいただきながら、全員の安否確認ができるよう区と住民が一層努力することが肝要であると考えます。
（森区長 田口盾男さん）

今回の訓練では、避難されなかった方の安否をいかに正確に把握するかをテーマに取り組みました。そのためには住民の皆さまの防災意識の高揚が一番の近道であり、今回の総合防災訓練を森区で実施できたことは大変有意義であったと感謝いたします。

（森区防災士 奥田一成さん）
森区災害対策本部で指揮をとる田口区長と奥田さん



みんなが土のうをつくれるよう、訓練しました。（宮地区）



赤バイ隊による偵察訓練（萩原方面隊）



災害図上訓練（DIG）で地域を確認しました。（小坂町大垣内区）



下呂建設業協会は土砂崩れ等による道路復旧のための集結訓練を行いました。



避難途中のけが人に応急手当をし、避難所まで搬送します（森区）

◆訓練の成果

8月17日の大雨により下呂市でも馬瀬地域を中心に大きな被害が発生しました。この時に、馬瀬地域自治会や山之口区では、区長や自主防災組織が中心となり、地区住民や観光客へ避難の促進等を積極的にを行い、被害の軽減にご尽力いただきました。また住民の方の中には危険を感じ、自主的に避難された方もみえます。

いつ、どこで起こるか分からない災害に対して日頃から意識を持ち、考えることが大切です。自分の住んでいる場所の地形を熟知し、いざという時に備えましょう。



訓練ではありません。災害時です！